

## 調査の概要

### 1. 調査目的

次世代育成支援行動計画「子どもの世紀 しがプラン」、青少年育成長期構想「新・アクティユースプラン」、「ひとり親家庭等自立促進計画」の3計画を統合した新たな計画の策定にあたり、データが少ない青少年の社会的自立に関する意識にスポットを当てた調査を行い、青少年の自立支援にかかる施策を検討する上での基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の概要

インターネットを利用して、青少年の就労や人生観に関する意識についてアンケート調査を行う。

### 2. 調査の基本設計

#### (1) 調査地域および対象者

滋賀県在住の15歳から34歳の男女

#### (2) マスターサンプル(使用名簿)

ネットモニター登録者を対象とし、スクリーニング調査を行い、本調査対象者を決定

#### (3) 調査方法

パソコンWEB調査

#### (4) 調査時期

平成21年8月

#### (5) 回収数

本調査 500名

## 回答者の属性

### 性別

調査数	男性	女性
500人	250人	250人

### 年齢

調査数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳
500人	53人	143人	152人	152人
100%	10.6%	28.6%	30.4%	30.4%

### 学歴

調査数	中学校	高校（全日制）	高校（定時制・通信制・単位制）	短大・高専	専門学校（専修学校専門課程）	大学	大学院	その他
500人	18人	88人	18人	40人	62人	244人	29人	1人
100%	3.6%	17.6%	3.6%	8%	12.4%	48.8%	5.8%	0.2%

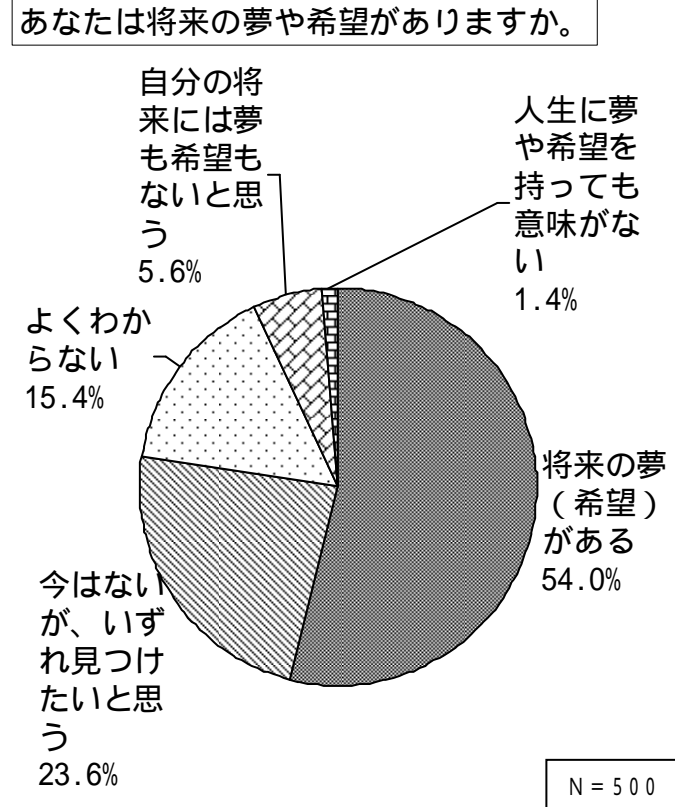
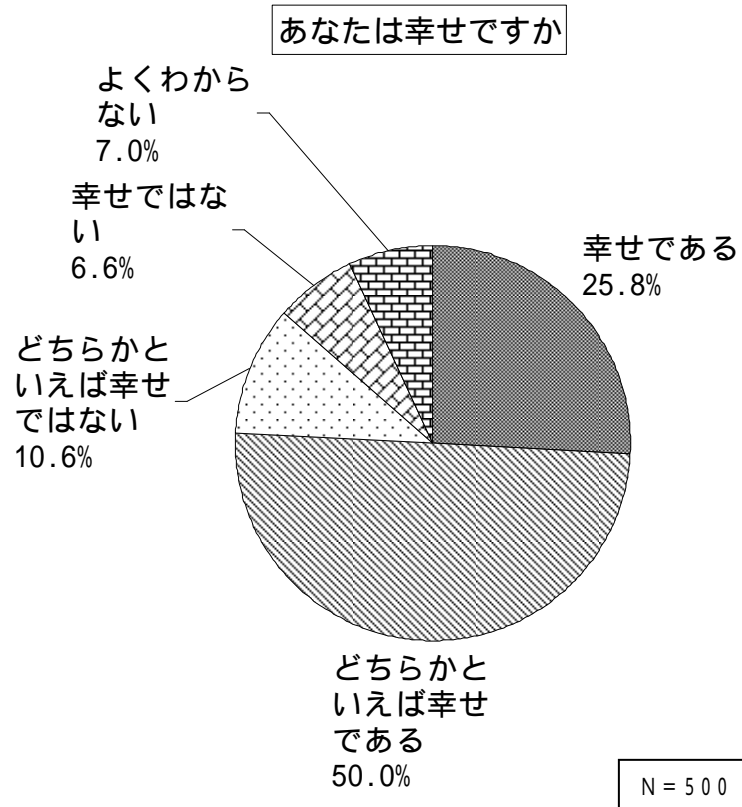
### 職業等

調査数	民間企業、団体、研究機関等の正社員（正職員）	公務員（正職員）	契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、臨時職員	会社経営者	自営業・自由業	専業主婦・主夫	学生・生徒	無職（家事手伝い含む）
500人	163人	10人	70人	1人	22人	68人	138人	28人
100%	32.6%	2%	14%	0.2%	4.4%	13.6%	27.6%	5.6%

## インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

約75%の若者が自分は幸せであると考えている。

半数以上の若者が将来に夢や希望を持っている。

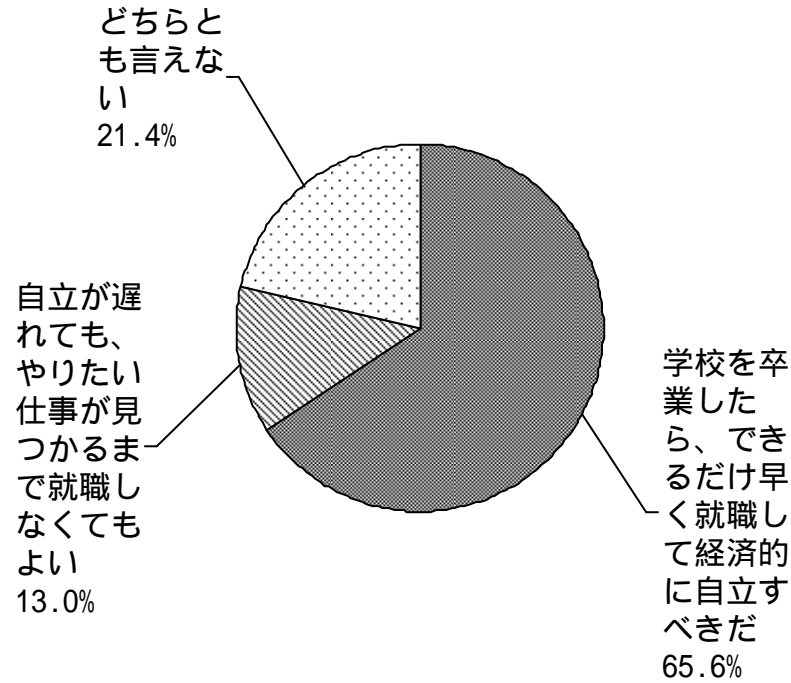


## インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

若者の多くは、学校卒業後、できるだけ早く経済的に自立すべきと考えている。

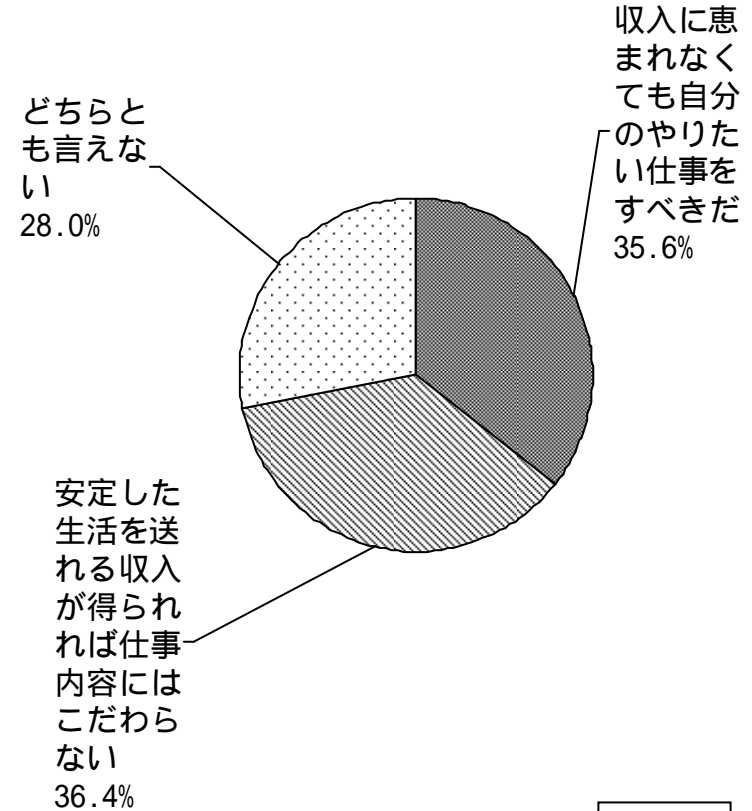
収入よりもやりたい仕事を重視する若者と、仕事の内容よりも安定した収入を重視する若者はほぼ同数である。

### 経済的自立に対する考え



N = 500

### 収入と仕事に対する考え



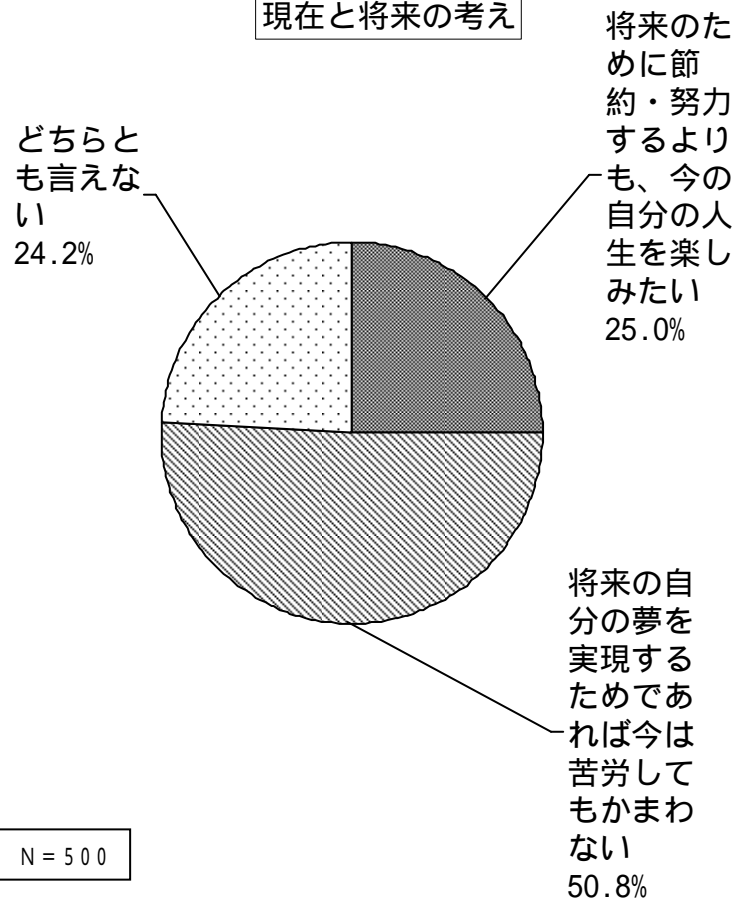
N = 500

## インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

将来の夢のためであれば、今の苦勞を厭わないと考える若者が半数を占めている。

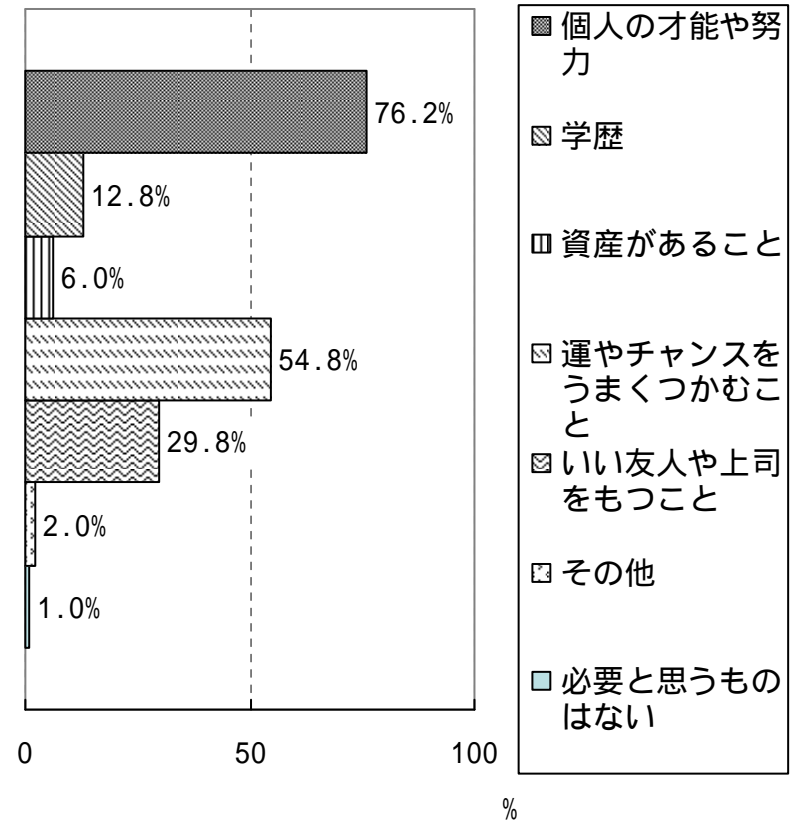
社会で成功するためには、個人の才能や努力のほかに、チャンスうまく捉まえることが大切であると考えている若者が多い。

現在と将来の考え



社会に出て成功するために必要なこと

<複数回答>

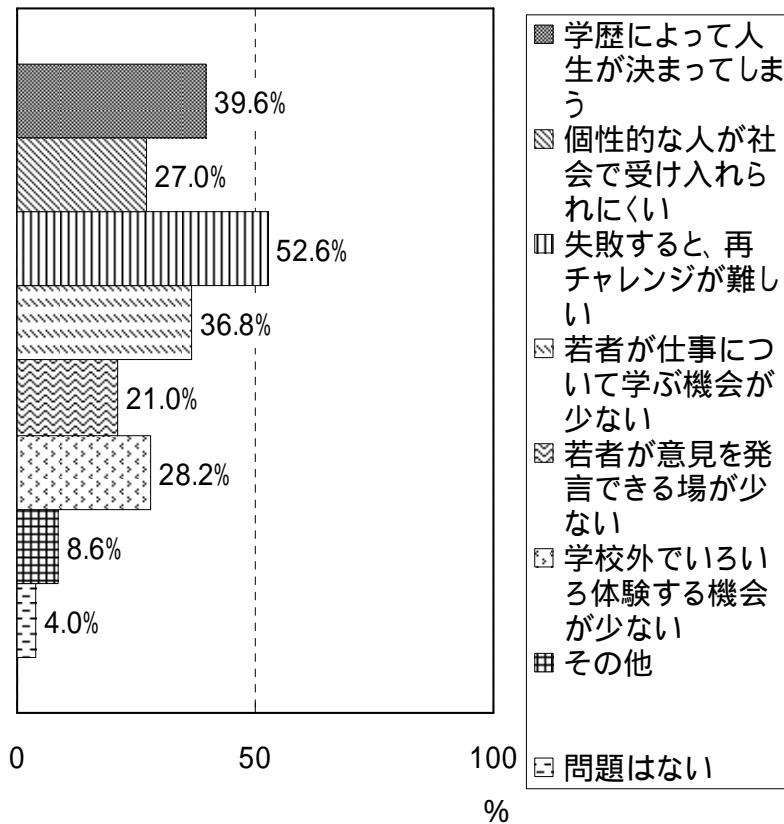


## インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

失敗すると再チャレンジが難しいと考えている若者が多い。

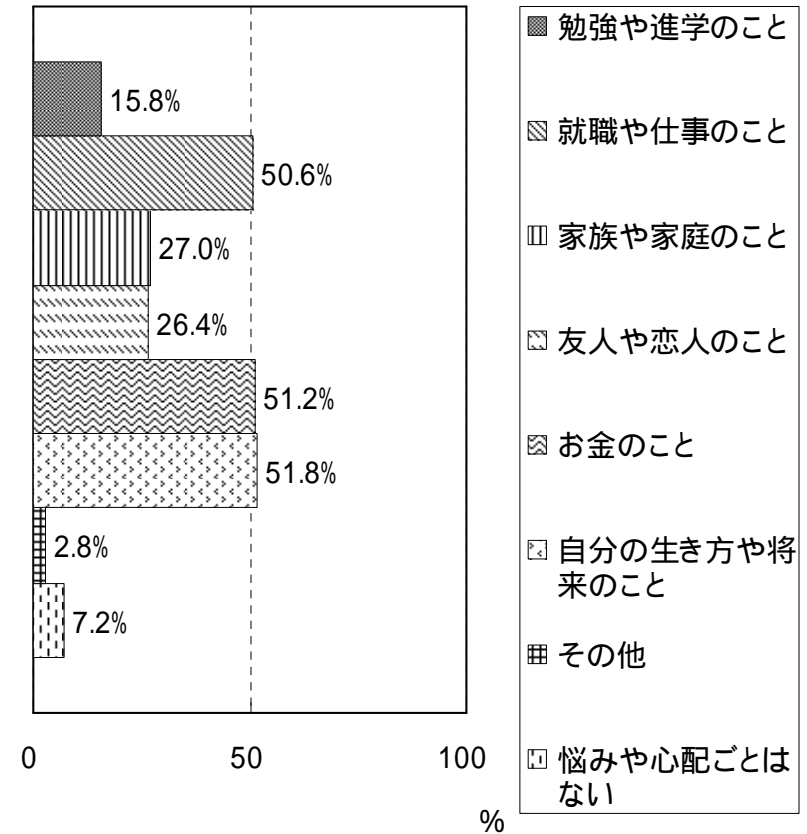
仕事やお金、自分の将来について悩んでいる若者が多い。

日本の社会における問題点 <複数回答>



現在の悩みや心配ごと

<複数回答>

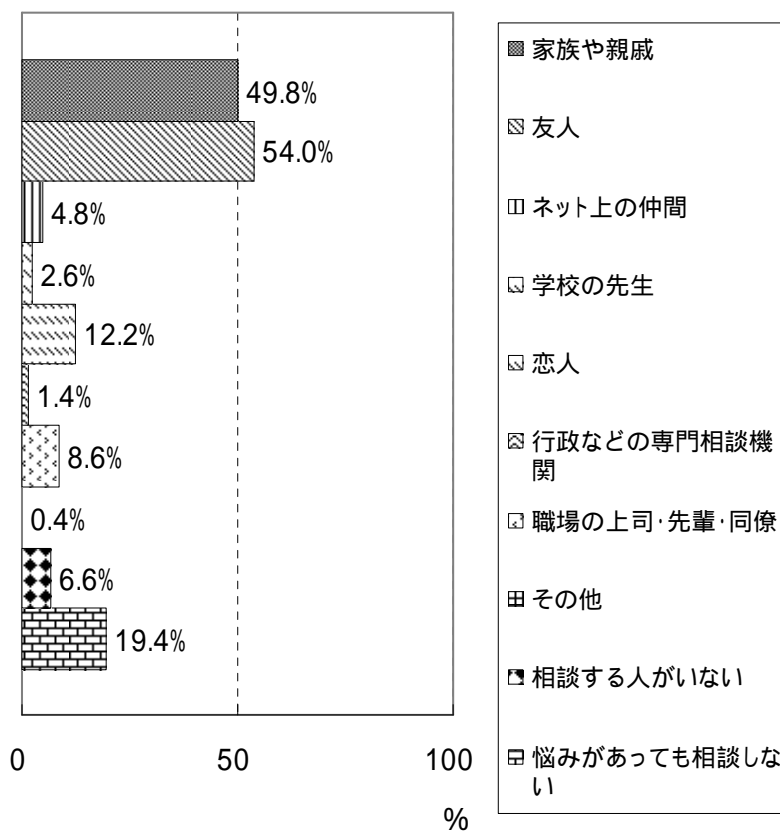


# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

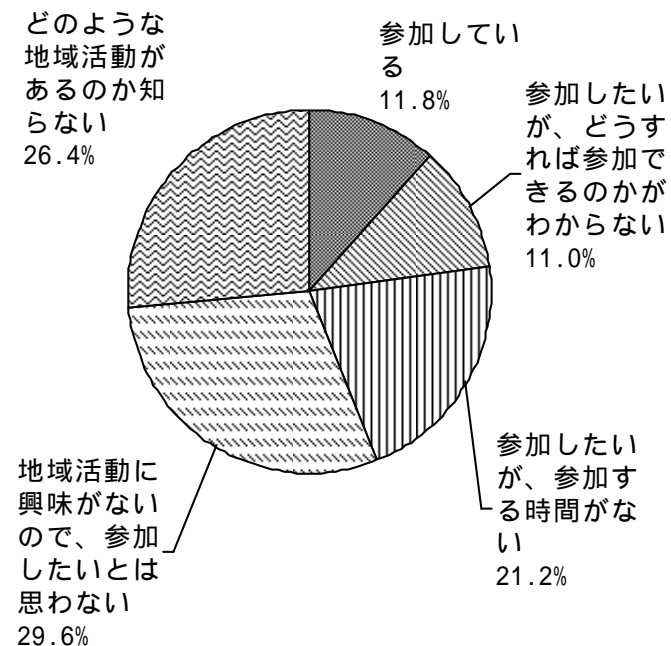
悩みの相談相手について、「相談する人がいない」、「悩みがあっても相談しない」という答えが、友人、家族に次いで三番目に多い。

「地域活動に興味がない」、「どのような地域活動があるかを知らない」と答えた若者が過半数を占めている。

悩みや心配ごとの相談相手 <複数回答>

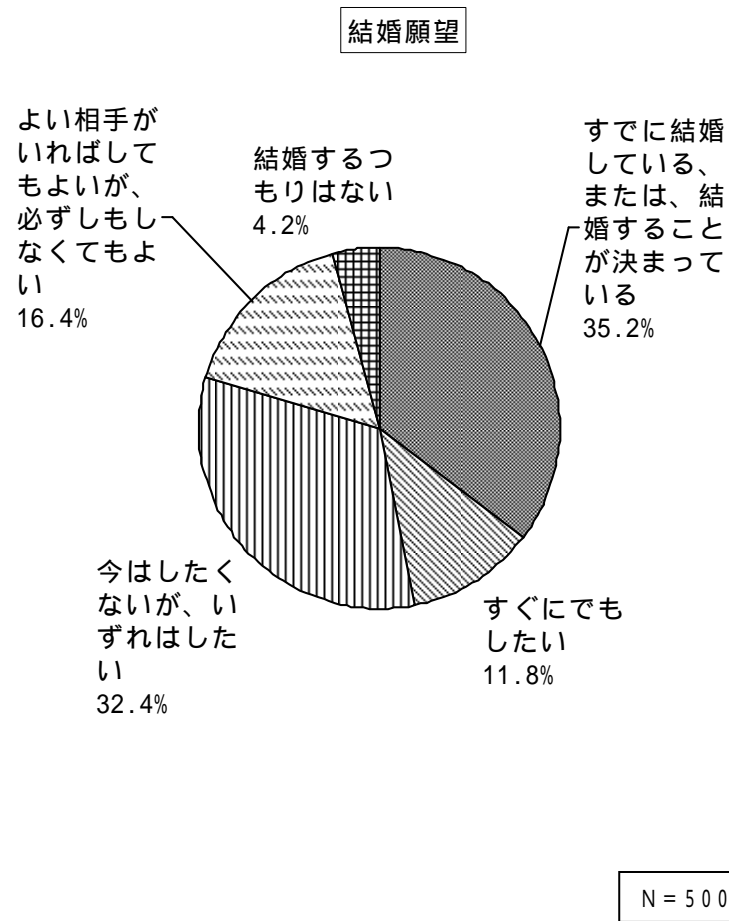


地域活動への参加状況



N = 500

## インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

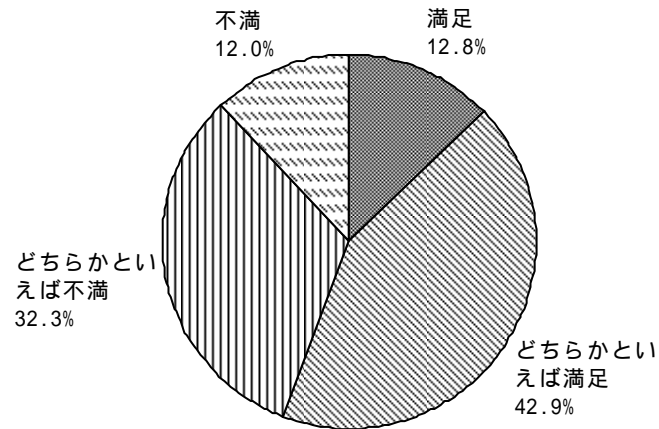


# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

現在、仕事に就いている人(専業主婦・主夫、学生・生徒、無職(家事手伝い含む)以外)について

自分の仕事に満足している若者が過半数を占めている。

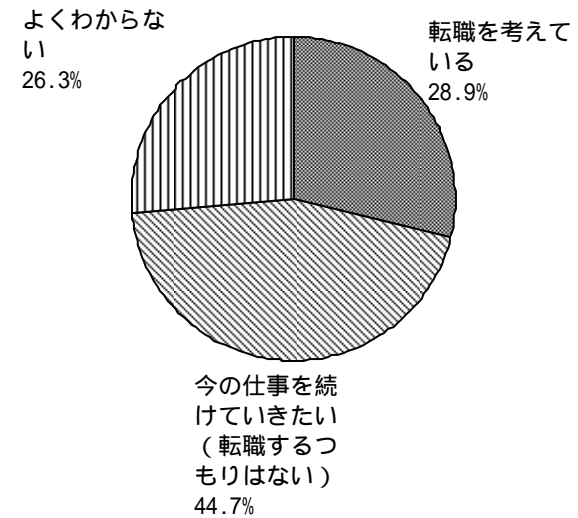
仕事に対する満足度



N = 266

半数近くの若者が現在の仕事を継続したいと考えている。

転職希望の有無



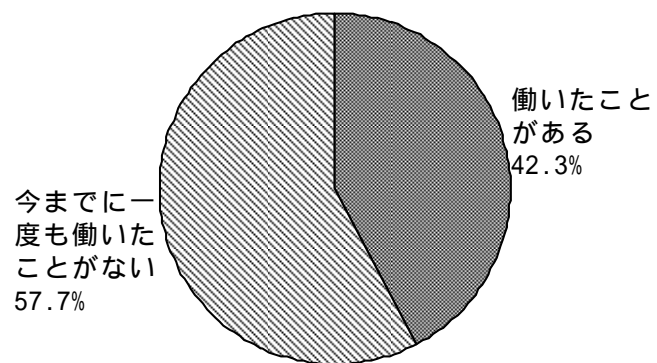
N = 266

# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

現在、仕事に就いていない人(専業主婦・主夫、学生・生徒、無職(家事手伝い含む))について

学生を含め、仕事に就いていない若者の大半は仕事に就きたいと考えている。

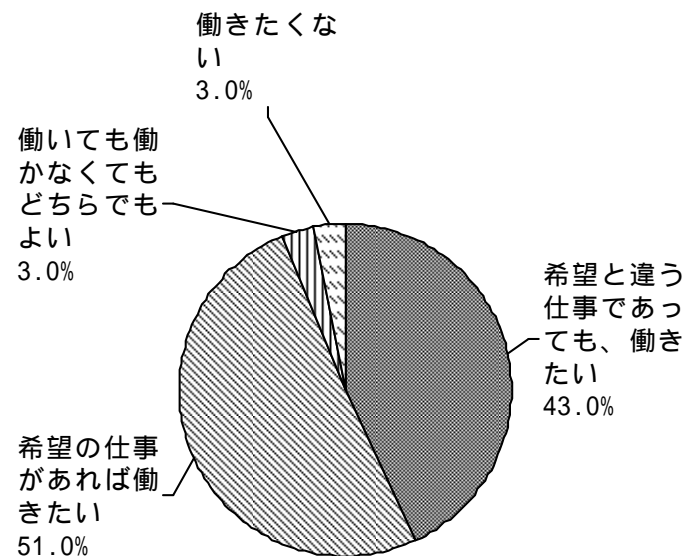
就労経験の有無



N = 234

就労に対する考え

左の質問で「今まで一度も働いたことがない」と答えた人について

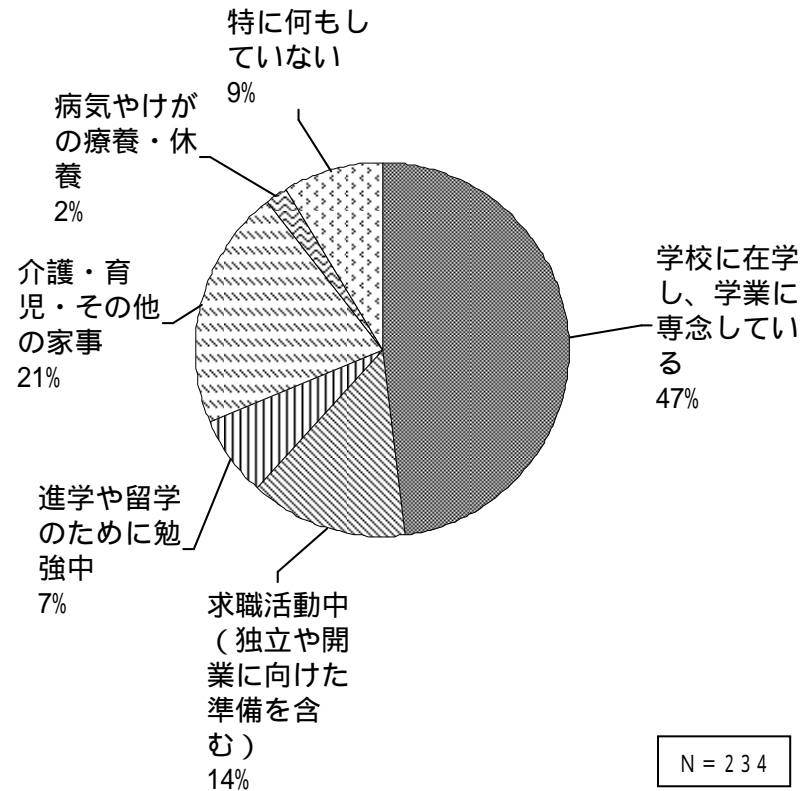


N = 135

# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

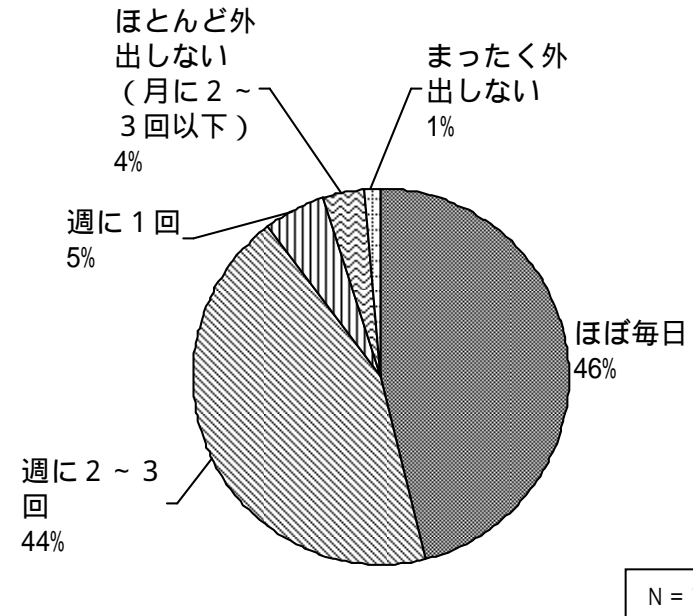
現在、仕事に就いていない人(専業主婦・主夫、学生・生徒、無職(家事手伝い含む))について

現在の状況



外出頻度

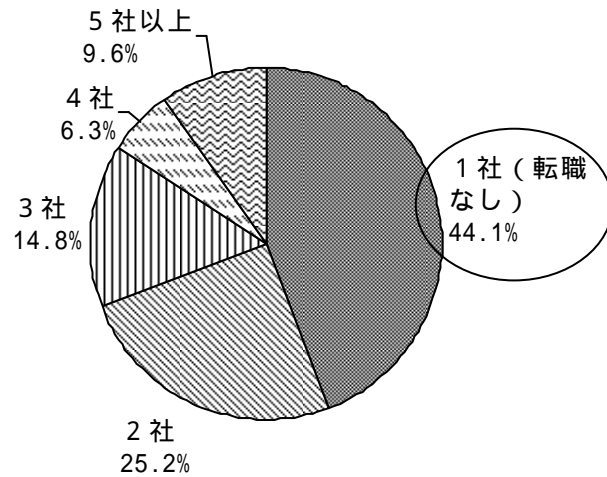
左の質問で、「介護・育児・その他家事」、または「特に何もしていない」と答えた人について



# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

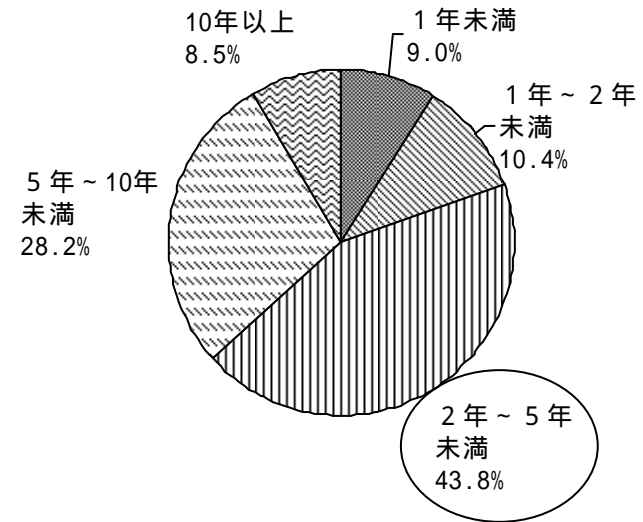
現在、仕事に就いている人、または無職であっても過去に就労経験のある人について

現在までに勤めた会社数



N = 365

最も長く続けた仕事の期間



N = 365

# インターネットによる青少年の社会的自立に関する意識調査(速報値)

現在、仕事に就いている人で転職を考えている人、または無職の人について

